

## 「個人研究発表募集のお知らせ」

宗教倫理学会第21回学術大会を下記の通り開催いたします。つきましては、会員による「個人研究発表」を募集いたします。奮ってご応募いただきますようお願い申し上げます。

なお、今後の新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、止むを得ず大会の中止または延期をさせていただく場合がございます。その場合、ホームページ等で周知させていただきますので、適宜ご確認をお願いいたします。

### 記

#### (1) 学術大会日程等

- ・ 日程：2020年10月3日(土)
  - 午前の部 個人研究発表
  - 午後の部 公開講演およびシンポジウム
- ・ 場所：天理大学研究棟（奈良県天理市杣之内町1050）
- ・ 大会実行委員長：堀内みどり（天理大学おやさと研究所 教授）
- ・ 大会テーマ：「「心」から宗教倫理を問う—日本宗教の現状と課題を中心に—」
- ・ 公開講演およびシンポジウムのテーマ：「宗教の社会福祉」
  - ①基調講演：渡辺一城（天理大学人間学部人間関係学科 教授、社会福祉学）
  - ②シンポジウム
    - パネリスト：渡辺一城
    - 金子 昭（天理大学おやさと研究所 教授）
    - 杉岡孝紀（龍谷大学文学部 教授）
    - 司会：堀内みどり

#### (2) 個人研究発表募集について

- ・ 発表時間：30分（発表20分、質疑応答10分）

個人研究発表は必ずしも大会テーマと関わらせる必要はありませんが、大会テーマの趣旨をご理解いただき、幅広い観点から宗教倫理の理論および実践について論じる発表をお願い致します。発表ご希望の方は発表題目および800字程度の要旨をつけて、下記のメールアドレスまでご応募ください（題目、要旨はメール本文に書き込んで下さい）。

[taikai2020@jare.jp](mailto:taikai2020@jare.jp)

なお、郵送される方は下記住所までお送りくださいませ。

締切：2020年7月10日（金）

〒600-8268 京都府京都市下京区大工町125-1  
龍谷大学 杉岡孝紀 研究室気付  
「宗教倫理学会第21回学術大会実行委員会」宛

## 【参考】

### 2020 年度研究テーマ

「心」から宗教倫理を問う—日本宗教の現状と課題を中心に—  
Religious Ethics from the perspective of Kokoro(heart, mind, and spirit)

これまで本学会では、生命や環境などをめぐり、諸宗教と諸学問分野が共有し、また現代社会が直面する問題について共同研究を進めてきた。2020年度の研究プロジェクトでは、こうした本学会の研究成果を踏まえた上で、昨年度に引き続き「心」をめぐり諸問題に取り組んでいきたい。「生命」と同様に、「心」は広範な問題領域を包括する概念であり、そこにおいては、認識・認知・意識だけでなく感情・情動そしてスピリチュアリティ（霊性）が相互に密接に関連し合っている。また関係する学問分野には、宗教学、倫理学、哲学はもちろん、心理学、社会学、認知科学、脳科学、あるいは人類学、教育学、法学などが含まれる。

「心」に関わる問題が広範に及ぶことは、多様な研究テーマを専門とする全ての会員がそれぞれの研究の立場から研究プロジェクトに参加することができると同時に、問題が拡散し焦点が定まらないことも考えられる。そこで、2020年度は「心」に関する問題領域の中でも、特に日本宗教をめぐり現状と課題に焦点を合わせたい。私たちが直面する世界規模の倫理的な諸課題に対して、日本宗教の特徴を踏まえた視点から、いかに応答するかは、本学会において検討すべき問いであり、真剣な議論が求められる。会員のみなさまには、積極的な発表・参加を大いに期待したい。

なお、「心」というテーマは多くの宗教が共有する問題領域であるが、現代宗教をめぐってしばしば見られるような、歴史的な諸宗教がその個性を希薄化し、「心」に収斂するかに見える動向とは、一線を画することが必要である。「心＝宗教」という漠然としたイメージに寄りかかるのではなく、むしろ、個々の宗教の歴史的な個性とその現代的意義を問い直す方向で議論を展開したい。(宗教倫理学会 HP <http://jare.jp/>)